

# 日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

## MDC別施設間比較【退院患者】

(令和2年度実績：DPC対象病院・準備病院)

### 解説資料

作成：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4310号 山岸義彦  
編集：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美

資料No.20220531-1207(00)

本資料は、令和4年3月23日の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます

# 資料解説

本資料は、令和4年3月23日の中央社会保険医療協議会(中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織 (DPC評価分科会))で公開された資料を参考にグラフ化しました。データの転記には注意していますが、本資料をご利用の際は併せて公開資料の確認もお願いいたします。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043\\_00005.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043_00005.html)

## < MDC別施設間比較 > に関して

- ・ データの出典元：1- (14) 在院日数の平均の差\_MDC別、2- (2) MDC別医療機関別件数
- ・ 「在院日数の平均の差」は、医療機関別、施設類型別での集計表。
- ・ MDC別医療機関別件数 (割合) は、様式1の手術があったものを「有り」として集計しています。
- ・ 集計対象病院：令和元年度のDPC対象病院および準備病院。

## < グラフ説明 >

- ・ 施設名の頭の㊸㊹㊺㊻は、令和元年度の大学病院本院群、特定病院群、標準病院群、準備病院を示しています。
- ・ グラフの縦軸 (件数) は、他の都道府県と比較するため最高値をMDC毎に、原則固定しています。
- ・ 縦軸を固定しているため、最高値を超えている施設が対象 (10施設未満) の場合は、縦軸 (件数) の最高値を変更しています。
- ・ 表示スペースの関係上、医療機関名は原則10文字以内に省略しています。
- ・ 医療機関の表示順は、二次医療圏ごとに令和元年度の件数の多い順で掲載しています。

## ○ 震災等の影響による医療機関データの取り扱い

以下、震災等の影響により提出データの一部月もしくは全月のデータが不足している。

- ・ 平成28年 (2016年) 熊本地震による影響 東熊本病院
- ・ 令和2年7月豪雨による影響 医療法人蘇春堂球磨病院

# MDC01 神経系疾患

MDC18分類  
全ての分類を用意しています (在院日数)

■ 件数   ■ 手術有   ● 在院日数の平均値   - - - 在院日数 (対象病院) の平均値

グラフの縦軸 (件数) を、他の都道府県と比較するため最高値をMDC毎に、原則固定しています

2次医療圏毎に件数上位の医療機関から順に掲載しています

自院の平均在院日数とともに、対象病院の全国平均値を併記しています



データを総件数とその中に含まれる手術を行った件数を並べて表記しています。

## MDC別施設間比較【退院患者】資料から判ること

MDC18分類毎に入院件数とそこに含まれる手術件数を2次医療圏毎に件数の上位順に表記しており、自院の立ち位置を確認できます。

MDC分類毎に入院患者の内容（手術の有無）を把握することができます。

MDC分類毎に、自院の平均在院日数を、全国の平均値とともに比較することができ、効率性係数の大まかな目安として確認することができます。

縦軸（件数）の最高値をMDC分類毎に原則固定することで、別の都道府県の医療機関と比較することもできます。

47都道府県全ての資料をご用意しております。

Stu-GEサイト内では、病院名が公開されるため、ダウンロード用資料は掲載しておりません。もし、ご興味いただきましたら、担当MRにご請求いただくか、Stu-GEサイト最下にあります、「お問い合わせ」をクリックいただき、[「お問い合わせフォーム」](#)より資料をご請求ください。日医工MRが資料をお届けいたします。



「お問い合わせフォーム記入例」

**お問い合わせ内容**：「厚労省・厚生局データのご請求」を選択

**資料の対象都道府県**：「〇〇県」

**お問い合わせ本文**：「1207 MDC別施設間比較【退院患者】」